

## 第1回 江別市廃棄物減量等推進審議会（要旨）

日時：平成23年5月31日（火）10：00～

場所：市民会館31号室

出席者：（委員）押谷会長・佐藤副会長・林倉委員・星委員・最上委員・金井委員・中井委員・亀田委員・川守田委員（9名）

（市）柴垣部長・松下次長・苅谷室長・種市課長・堀課長・立石参事・明石課長・渡辺主幹・松井係長・金子主事（10名）

傍聴者：1名

### （1）開会

種市課長：本日の出席者は13名中9名で本審議会が成立していることを報告します。

本日は平成23年度第1回目の審議会となりますが皆様の任期満了が6月末迄ですので現メンバーでの最後の審議会となります。

本日は傍聴者が1名おりますのであらかじめ報告します。

### （2）議事

#### ① 報告事項

- 大型ごみの排出・収集の状況について
- 指定ごみ袋の統合及びごみ処理手数料の減免拡大について
- 資源物・危険ごみ・燃やせないごみの収集状況について

#### ② その他

押谷会長：本日は報告事項のみとなっています。前回までに慎重な議論をいただき策定しました「一般廃棄物処理基本計画」について、これまでに動きのあったことを順に報告していただきます。

種市課長：それではそれぞれ担当から報告します。

### 【大型ごみの排出・収集の状況について説明】

押谷会長：順調に稼動しているということだと思いますが、今のことについて質疑等がありますか。

林倉委員：排出と収集は比較的順調という実感があります。当初、年末年始や年度変わりは排出が多くなると想定していましたが、意外と5月の連休明けも多く、これについては想定していませんでした。

また、環境クリーンセンターへの直接搬入については、相当減るだろうと予測していましたが、データ上ではほとんど変化がない状況です。ゴールデンウ

イク、年末年始なども多数の方が搬入しており、車が列をなしている状況です。繁忙期には交通整理要員を出して対応しています。

次回以降の審議会において、直接搬入の形態についても議論いただきたいと現場に携わっているものとしては思っています。

種市課長：ただ今の件ですが、引越し等の多量ごみは、ごみステーションに出さないよう啓発していますので、受け入れざるを得ないと思いますが、そうではない、少量のごみを持ち込まれると林倉委員の言われたような状況になりますので、受入の最低単位を変更するなど考えていかなければならないですが、それについては次回以降の審議会でも議論いただきたいと思えます。

押谷会長：それでは、次の報告をお願いします。

### 【指定ごみ袋の統合及びごみ処理手数料の減免拡大について説明】

押谷会長：統一指定袋や少量袋は使われましたか。

亀田委員：(少量袋について) 独身の方々、1人住まいの方々は良いようです。特にこれからの夏は良いかと思えます。

川守田委員：(少量袋について) 金属・ガラス等の小さなものには使い勝手が良いと思えます。

林倉委員：統合前の袋についてはまだ少し在庫がある状況です。ごみステーションには統合前の袋では出しづらいイメージがあるようですが、皆様も是非統合前の袋からお使いいただくようお願いしたいと思えます。

押谷会長：PRしていただきながら、林倉委員の言われたように在庫がある統合前の袋から使っていただきたいと思えます。

種市課長：以前に指定ごみ袋を統一すると排出行動が乱れるという意見があったかと思えますが、そのことについての状況はいかがでしょうか。

押谷会長：分別が乱れる懸念がありましたが、そのようなことはなかったでしょうか。(なし) 順調ということでよろしいでしょうか。(了)

続いて減免措置についてはいかがでしょうか。少し気になるのが障がい者支援について、10月に申請があったようですが、11月以降はありませんでした。これについてはもう少しPRしていただいても良いのかなと思えます。

堀 課長：障がい者支援は紙おむつの支給を受けている方が対象ですので、市内においては10月に申請のあった件数が対象件数になっています。今年度4月に更新した際にも同じような件数になっていますので、障がい者支援の制度を受ける方が増えますと減免も増えると考えています。

押谷会長：他には何かありますか。(なし)  
次の報告をお願いします。

### 【資源物・危険ごみ・燃やせないごみの収集状況について説明】

押谷会長：今のことについて質疑等がありますか。(なし)

今のところ順調ということで、よろしいでしょうか。(了)

【その他について】

押谷会長：以上で報告事項の3点が終わりましたが、他に何かありますか。

金井委員：排雪が入っている時にごみを出す際、排雪業者がごみをごみステーションと反対側に置いてくださいというような指示がありましたが、その業者に従って良いのでしょうか。そして市の収集車は、その時に1日かかっても取りに来るのでしょうか。

明石課長：従ってください。例年、市道の排雪は夜間に行っているものが、今年は大雪のために日中排雪となり、このようなことがありました。そのため、排雪などで収集できなかった場合、翌日にパトロールするようにしました。

金井委員：それでは原則として、業者の指示に従うということで理解してよろしいでしょうか。

明石課長：そのとおりです。

押谷会長：大雪の時には排雪業者の指示に従うということを周知していただくことはあっても良いと思います。

他にありますか。

川守田委員：大型ごみの排出ですが、良いなと感じた点をお話したいと思います。受付の方の対応は非常に親切でしたし、以前、近所の方にソファの排出を手伝って欲しいという話があり、ごみステーションまで運びましたが、その手間がなくなるということは良いと思いました。

押谷会長：市民レベルではかなり利便性が高まっていると思います。林倉委員、収集運搬業務としてはいかがでしょうか。

林倉委員：今の話は大変ありがたいと思います。ただ、残念ながら、玄関先に出していただくというのがこの制度ですので、もし家の中から出すというのであれば、私共の民間業者で別料金になりますが引き受けていますので、ご相談いただければと思います。

受付センターの件もお話いただきましたが、制度が分かりづらい部分もありますので、私共も分かりやすくお伝えできるように努力しています。

押谷会長：受付に電話されたのは川守田委員だけでしょうか。他にいますか。(なし)

林倉委員、クレームなどはありましたでしょうか。

林倉委員：クレームはそれほどないのですが、キャンセルですとか、収集に行ったら物がないとか、あるいはシールが貼っていない、違う物が出ているなどはありましたが、当初考えていたよりは、混乱は少なく順調にスタートしていると思います。

押谷会長：スタートしたばかりですので、まだまだ評価ができないかもしれませんがよろしくをお願いします

種市課長：今の大型ごみの件ですが、先日、オペレーターの方々と打ち合わせをしました。マンション等での置き場所については、決めてもらっているはずですが、裏に

置いてあったりで収集の際に探し回らなければならないということがよくあると聞きましたので、その点は啓発していきたいと思います。

林倉委員：大型ごみの排出場所を決めている自治会やマンションもありますが、徹底されていないところもあり、出された方に排出場所を電話で確認しようとしても、不在ということもあるので、そういう手間はかかります。

押谷会長：他にありますか。

種市課長：先行実施してきた事業は以上のとおりですが、4月から取り組んでいる部分がありますので報告させていただきます。

まず施策の2-3在宅医療廃棄物ですが、江別医師会、札幌薬剤師会江別支部と協議を行いまして、感染の恐れのある注射針・注射筒・針付のチューブ・インスリンの自己注射、このような針系のものについては処方されたり交付された医療機関や薬局に戻すということで、現状のルールを維持することになりました。

このことについて収集運搬を行っている各現場事業者の方と協議をして、今までどおりの取り扱いで問題はないということで確認いただきました。

今後は医師会、薬剤師会それぞれに通知と、9月発行の分別の手引きに在宅医療廃棄物というような欄を設けまして啓発していきたいと思います。

次に、施策の1-14小型家電回収ですが、5月28日（土）に開催されました消費者フェスティバルで回収したところ、電話機・FAX・ゲーム機・テレビリモコン等が、ビールケースより大きいケースで7個ほど集まっています。6月には環境広場がありますが、ここでも回収しますので広めていただければと思います。

林倉委員：小型家電に電池が入っていると、パッカー車に投入してつぶした時に、火花が出て火災になる場合があります。

危険ごみが分別収集されて火災が減りましたが、それと同様に、小型家電が減ると火災も減るので是非皆様にご協力いただければと思います。

押谷会長：他にありますか。

種市課長：他に2つ程ですが、施策の2-2民間処分業者の活用ですが現在、畳と事業系の紙くずをRDF化できないかということで関係業者に打診しているところです。畳はクリーンセンターにおいて手作業で切るなどしているので、そのようなことがないよう、民間業者の活用を進めていきたいと思います。

また、震災関連で環境省からクリーンセンターでどれくらい廃棄物を受け入れられるのかという全国調査があり、江別市では1日当たり5tという回答をしています。それが実際に搬入されるかどうかは別です。

押谷会長：他にありますか。（なし）

それでは、現行のメンバーでの開催は最後となりますので、1人ずつ振り返っていただきたいと思います。

**【各委員、事務局より挨拶】**

押谷会長：2年間、計16回にわたり本当にありがとうございました。それでは事務局に戻りたいと思います。

種市課長：この減量審については、7月から、また新たなメンバーでのスタートを予定しており、まもなく各団体に推薦をお願いする予定です。

皆様にも再度、委嘱させていただくこともあろうかと思っておりますので、その際はよろしく申し上げます。

また、市民公募委員の方には、本日で終了となりますが、これを機会にまた、ごみ減量などのごみ対策について、ご指導、ご支援いただきますようお願いいたします。

皆様2年間、本当にありがとうございました。

10:50終了